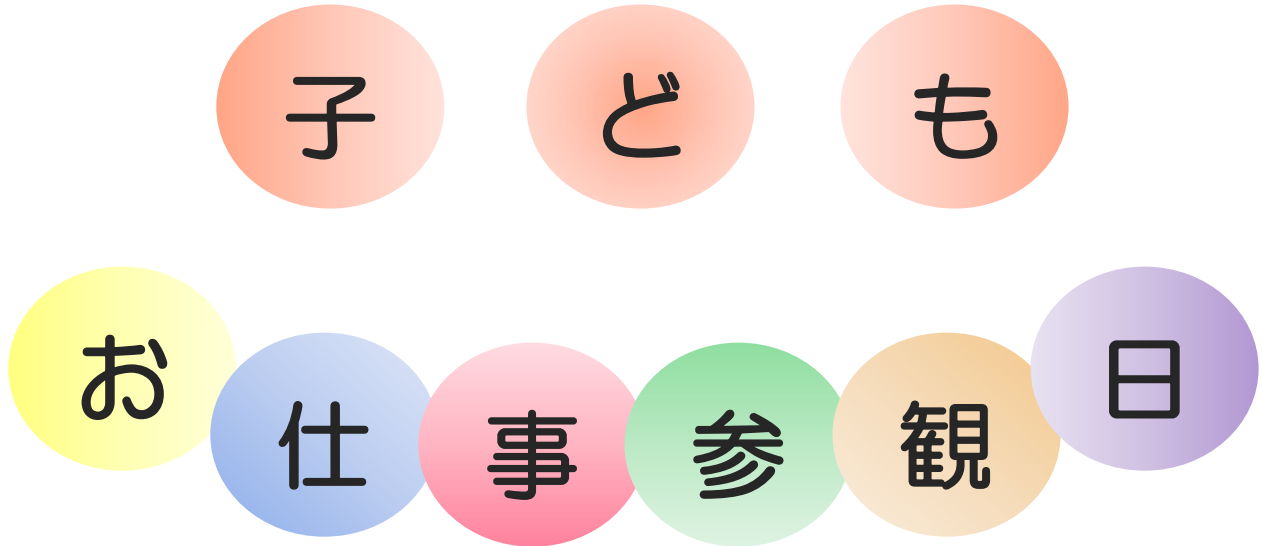


子どもお仕事参観日 Vol.2 社会福祉法人雄和福祉会



『子どもお仕事参観日』とは、パパ・ママが普段どんな職場で働いているか子どもたちが見学する日。子どもと職場の人たちが交流することで、それぞれに大事な家族がいるんだ、お互い助け合っていこう、と職場の皆さんに再認識してもらう特別な 1 日です。

今回の訪問先はこちら！



社会福祉法人雄和福祉会

(秋田市)

特別養護老人ホーム花の家やデイサービスセンター緑水苑など多数の事業所を運営し、介護サービスの提供を秋田市雄和地区で行っている法人です。

今回の参加者はこちら！

6人のパパ・ママのお子さん、10人です。

たいちくん（9）
るなさん（6）
ここなさん（3）
ゆうやくん（10）
みくさん（11）
きょうはくん（8）
しれいくん（10）
ゆうしんくん（7）
さくねくん（6）
さくとくん（8）

『子どもお仕事参観日』
はじまります！

まずは自己紹介から！

暑い日が続く7月の午後、社会福祉法人雄和福祉会に子どもたちがやってきました。同じようにパパ・ママと一緒に集まった仲間があわせて6組。これから何をするのかな、とわくわくドキドキの子どもたちの前で、大友総務担当主査がごあいさつをしてくれました。

子どもたちも自己紹介！

ちょっと恥ずかしそうな様子もありましたが、上手にできましたね。





自己紹介が終わってから、佐々木施設長が法人のお仕事についてお話ししてくれました。
福祉や介護などは、子どもたちにとっては少し難しいかもしれませんが、わかりやすい言葉を使ったお話でした。

皆、パパやママのお仕事を想像できたかな？

次は実際のお仕事の現場へ GO！



お仕事を見学しよう

雄和福祉会では特別養護老人ホームやデイサービスセンター、地域包括支援センターなどたくさんの事業所を運営しています。

別々の場所で働くパパ・ママもいるので、事業所ごとに分かれて見学することになりました。

特別養護老人ホーム花の家では、子どもたちと入所者さんとのふれあいから「子どもお仕事参観日」が始まります。

広々としたホールで過ごす入所者さんは、子どもたちを見ると笑顔で話しかけたりしてくれました。

中には100歳を超える入所者さんもあり、子どもたちは年齢を聞いてびっくり！



看護師のママは、これから目薬点眼の時間です。

目薬などをのせた台を押して入所者さんのお部屋をまわり、点眼の様子を見学します。

合間には、ママが施設の中を案内してくれました。

お部屋の名前には花の名前が使われているんだって。花の家という施設名にぴったりですね！



介護副主任のママは、入所さんの水分補給のお手伝いをします。

寝た状態でも水分を摂りやすいよう、配慮してつくられたゼリーをあげるママの姿を、子どもたちは興味津々で見つめます。

スタッフさんの水分補給介助の様子も見学させていただきました。



お部屋の外では、入所さんのリハビリのお手伝いが始まっていました。

状態に応じて使えるよう、いろいろな道具が用意されています。

組み合わせて丸い形になる木の道具は、5分くらいで全てのペアを見つける入所さんもあるそう。

また、他の道具をママが購入したのを覚えていて、この前買ってたのはこのためだったんだ！と納得です。



同じ道具でもできる人、難しい人がおり、それぞれの能力にあわせて作業を考える必要があります。

そんなママのお仕事を間近で見て、どう感じたかな？

ママは準備から後片付けまでお手伝いしてもらって、大助かりですね！



お部屋の外でも水分補給のお手伝いが続いていました。

入所さんが食べやすいよう、ママがあーん、とするのにあわせて、子どもたちのお口も開きます。

おいしいのかな？という風に、ママを見上げる様子も。



ここでも子どもたちは大人気！

子どもたちが手を振ると、入所者さんが手を振り返してくれました。

ママやスタッフさんにやったね！と声をかけられ、子どもたちもうれしそうです。

花の家から少し離れた場所にあるデイサービスセンター緑水苑では、お風呂の見学から始まりました。

スタッフさんが説明している間に…あっ！いたずらしてるのはだれ？



お風呂で使う便利な道具ひとつ、シャワーキャリーの体験に、やんちゃな子どもたちの笑顔があふれます。

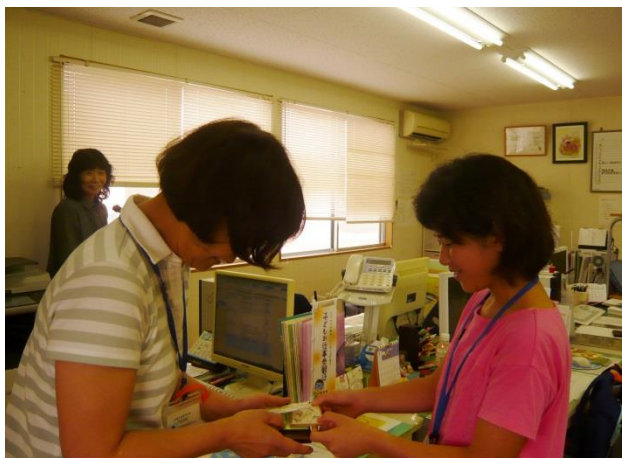




お風呂の見学の次は、レクリエーションの体験です。
 ボーリングや玉突きを利用者さんやスタッフさん、皆で楽しめます。
 よーく狙って…うん、ナイスショットのようですね！
 体を動かした後はおやつの時間。
 おやつ配膳のお手伝いをしたり、利用者さんとおしゃべりしたりしました。



このほか、花の家居宅介護支援事業所では、スタッフさんとの名刺交換やケアハウス入居者さんの訪問見学、雄和地域包括支援センター緑水苑では、事務作業の見学をしました。



お仕事の見学を終えて

事業所ごとのお仕事見学・体験が終わり、子どもたちがパパ・ママと一緒に戻ってきました。はしゃいだ様子の子どもたちでしたが、パパやママへのメッセージを書く時は、一転して真剣な顔つきに。

メッセージの発表を聞くパパやママは、うれしそうに微笑んでいました。



最後は皆で記念写真！たくさんの心に残る体験ができた『子どもお仕事参観日』でした。



『子どもお仕事参観日』を終えて

＜パパ・ママから＞

- 子どもに関わる行事で休みを何度ももらっています。参観日は子どもにとって社会勉強になるし、大人も参加して楽しいものですね。
- このような形で子どもを連れてくるのは初めてで、同僚が戸惑わないかと思いましたが、皆に協力して受け入れてもらい良かったと思います。
- PTA 等でも休みやすい職場環境。同じ子育て世代の従業員だけでなく、先輩方もやさしく対応してくれます。介護の仕事を頑張っている姿を実際に子どもに見せることができました。

＜職場の方から＞

- PTA 等は時間休のほか、勤務がシフト制のため、あらかじめ決まっている行事はシフトを調整しての対応が可能です。全般的に休暇が取りやすい雰囲気、ほぼスタッフの希望どおりに対応できていると思います。
- 参観日の開催は、親がどういう仕事をしているか、子どもたちが実際に目で見える機会。話すだけでは分からないこともあるため、実際に体験できるのが大きいですね。また、周りのスタッフも参観日の開催に協力的で、子どもたちに話しかけるなどサポートしてくれました。



社会福祉法人雄和福祉会さん ありがとうございました！

秋田県は、仕事と育児・家庭を両立しやすい職場づくりを応援しています！

詳しくは、秋田県企画振興部人口問題対策課まで Tel：018-860-1249

こちらをご覧ください。

○秋田県少子化対策総合ウェブサイト ベビーウェーブ・アクション

<http://common3.pref.akita.lg.jp/babywave/>

○ベビーウェーブ・アクション Facebook

<https://www.facebook.com/babywave>